

令和5年度 野庭地域ケアプラザPDCAシート\_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

<地域の現状>

- ・コロナウイルスの分類が2類から5類へ変更となり社会の行動も変化する年です。コロナ禍で中止、廃止になった活動もありますが、制限されていた地域の自治会活動やサロン、ボランティア活動は様々な検討を重ね新しい形で動き出しています。
- ・野庭エリアは急速な高齢化に伴い、認知症高齢者も増加し日常生活において多種多様な問題が発生しています。
- ・小さなコミュニティ(町会、フロア、階段単位等)での見守り、助け合いができる仕組みが求められています。
- ・複雑な事情を抱えたご相談が増え、対象者の支援に限らず、家族も含めた世帯全体の支援が求められています。

<今後の方向性>

- ・地域活動活性化のための支援(コロナ感染予防対策への柔軟な対応)
- ・総合相談対応の充実
- ・地域包括ケアの推進(見守り事業、介護予防・生活支援事業、地域支援者サポート等)
- ・港南ひまわりプランの推進

新規  
継続

—具体的な取組内容—

<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>必要な情報を必要とする人に届けるために、情報発信に力を入れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプラザを知って頂くために転居時、自治会等入会時に「地域ケアプラザ冊子」を関係機関と連携し配布いたします。</li> <li>・ケアプラザホームページに地域の生活支援情報を掲載します。</li> <li>・野庭エリアで活用できる訪問理美容サービス事業者一覧・のぼ生活お役立ち情報通信(ケアマネジャー向け)を作成、発信致します。</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>子育て支援事業・権利擁護事業に力を入れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子向けの子育て事業、「はっぴ〜◎たいむNOBA」を定期開催いたします。地域の子育て情報の発信や子供に関する講座等の場も設けていきます(地域の幼稚園や保育園、地域の活動団体の皆さんやボランティアの方々の協力を頂き開催)。</li> <li>・地域の子育て関連の団体や事業所と情報共有・意見交換の場を作ります。</li> <li>・成年後見制度の普及啓発と共に成年後見制度の申し立て手続きの支援をいたします。</li> <li>・高齢者虐待防止のための普及啓発と共に、介護者の集いを開催し介護者の方の支援にも力を入れます。</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>野庭地域において認知症の理解や支え合いの輪が広がるよう普及啓発に力を入れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「NOBAメイトの会」と連携し、地域の方を対象に認知症サポーター養成講座を令和5年7月29日に開催します。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響により、研修の機会も少なくなったことでNOBAメイトの会(キャラバンメイト)のメンバーが減少傾向にあります。キャラバンメイトの講習会にお誘いをしてお仲間づくりにも力を入れます。</li> <li>・野庭ふれあいまつりで多世代の方を対象に認知症啓発活動を「NOBAメイトの会」の皆さんと行います。</li> </ul>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>野庭エリアの地域活動の活性化や見守り体制強化のための支援に力を入れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防講座開催後、継続希望の方が多ければ自主活動グループの立ち上げ支援を行います。</li> <li>・ケアプラザ以外の会場で開催される元気づくりステーションはより多くの方の参加の機会を作り出します。今年度野庭団地第4住宅集会所にて「脳トレ筋トレクラブ」が立ち上がります。今後の活動が継続できるよう支援をさせて頂きます。</li> <li>・各地域では住民が主体となり工夫して見守り活動をされています。住民主体の活動をする上で個人情報の取り扱いが大切です。そのような研修の要望があれば支援をさせて頂きます。</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>港南ひまわりプラン及び地区別地福計画を推進いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・包括エリア(野庭団地地区、野庭住宅地区、永野地区)について、地区別計画を元に、どのような取り組みが行われているか、エリア内居宅支援事業所を中心に、情報提供する場を設定いたします(1回/年)。その後、各地区の意見交換会にケアマネジャーが参加できるよう調整を行います(1回)。</li> </ul>

## ◆ 事業報告・事業実績評価

### 振り返り

今年度は新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に移行したことに伴い、地域での活動やケアプラザ事業は活動の幅が広がりました。

野庭住宅連合自治会主催の「秋 ふれあい祭り」や永野連合町内会主催の夏祭り等の地域行事の再開や、コロナ以前に行っていた活動が新たな活動に生まれ変わり再開した野庭団地地区社協の新事業「出前カフェ」、コロナ禍で中止の多かった食事関連事業の再開(のぼこども食堂、地域サロンでの昼食会など)などが上げられ地域の活動が動き始めました。その地域活動にケアプラザ職員も参加の機会を頂き出前講座を始めとした役割を果たす中で地域の皆様との顔の見える関係づくりの大切さを再認識いたしました。またケアプラザ事業では、貸館利用がほぼ通常通り運営できるようになり、子育て支援事業「ハッピー😊たいむNOBA」などの自主事業やデイサービスなどでボランティアの皆様のご協力を頂けるようになりました。総合相談においては、3年以上にもなるコロナ禍で外出や交流の機会が減ったことによる心身機能の低下や認知症状の発症・悪化の相談がとて多くなりました。その中でも近隣住民の方々より寄せられる相談やご協力を頂くことも多く、地域の見守り体制が機能していることを実感致しております。またNOBAメイトの会の皆様と共に認知症サポーター養成講座を開催し認知症の普及啓発活動にも力を入れて行いました。必要な情報を必要な人に届けることを目的に今年度は訪問理美容事業者一覧、のぼ生活お役立ち情報通信を作成するなど情報発信にも努めました。次年度も野庭地域の福祉保健の拠点として役割を果たしていけるよう地域の皆様、各関係機関・関係団体と連携し個別支援、地域支援に努めて参ります。

### 区からのコメント

「必要な情報」を「その情報を必要とする人」に届けるという目標達成に向けて、地域のインフォーマルサービスや生活に役立つ情報を集約し、情報を発信していただきました。情報発信のツールは、すでにつながりのある地域住民にとって有益なだけでなく、未だにケアプラザを知らない方々とつながるきっかけになります。今後も地域アセスメントを通じて、地域のニーズにあった情報発信をお願いします。

地域で抱える問題は、多様化・複雑化しており、分野を超えた包括的な対応が求められています。8050世帯等、課題が複雑化し多問題世帯が増えている中、区とも密に連携を取りながら迅速かつ丁寧な対応をしていただいています。多角的なアセスメント及びアプローチのためにも、区役所だけでなく、障害分野の支援機関など様々な機関との支援体制づくりに期待します。地域ケア会議では、開催に向けての調整が進まず断念しましたが、開かれた検討の場として開催できるよう、共に考えていきましょう。介護予防支援ケアマネジメント事業においては、訪問理美容事業者の情報を収集し、一覧を作成しました。一覧表は、関係機関や地域に向け配布すると共にホームページ上でも公開しています。引き続き、地域で自分らしい生活を実現するための働きかけをお願いします。